

課題名

25. ヤノネカイガラムシの天敵ヤノネキイロコバチの代替寄主による増殖法について

成果の要約

ヤノネキイロコバチはカボチャに寄生させた代替寄生のヤシシロマルカイガラムシで増殖できる。

(1) 増殖用のカボチャはヤシシロマルカイガラムシを接種して、3～4月間腐敗せずにヤノネキイロコバチの増殖ができた。

(2) 最も増殖率が高かったのは黒皮カボチャを用いて30♀のヤノネキイロコバチを接種した場合で5世代目の羽化まで見られ、136倍の増殖が得られた。

第1表 ヤノネキイロコバチの増殖 (I) (25 ± 0.5 °C)

月 日	区 接種頭数 世代	1	2	3	4	5	6	7	8	計
		20 ♀	20 ♀	10 ♀	10 ♀	10 ♀	10 ♀	10 ♀	10 ♀	10 ♀
7/15-8/1	I	37	35	18	80	25	29	86	40	350
8/2-8/17	II	83	165	83	454	158	169	316	192	1620
8/18-9/2	III	0	75	33	542	191	184	321	217	1563
9/3-9/11	IV	-	2	1	4	0	0	43	5	55
	計	120	277	135	1080	374	382	766	454	3588
増殖率 (倍)		6.0	13.8	135	1080	374	382	766	454	359

成

績

注) 5月18日～25日 日向南瓜にヤシシロマルカイガラムシを接種
7月4日にヤノネキイロコバチを接種し、同14日に除去した。

第2表 ヤノネキイロコバチの増殖 (II) (25 ± 0.5 °C)

世代	区 接種頭数	1	2	3	4	5	計
		30 ♀	30 ♀	30 ♀	30 ♀	50 ♀	170 ♀
I		70	379	83	104	244	889
II		229	1372	228	266	434	2529
III		413	873	274	441	344	2345
IV		1350	1282	372	396	954	4354
V		231	175	-	-	-	406
計		2302	4081	957	1207	1976	10523
増殖率 (倍)		7.67	136.0	31.9	4.02	3.95	61.9

概

要

注) 7月8日～15日 黒皮南瓜にヤシシロマルカイガラムシを接種 1・2区は7月22日、3・4区は7月25日に5区は7月22日にヤノネキイロコバチを接種し、各々15日後に除去した。10月18日終了。

第3表 ヤノネキイロコバチの増殖(Ⅲ) (25±0.5℃)

世代	区	1	2	3	4	5	6	計
I		131	184	91	136	89	85	716
II		452	775	496	594	181	169	2667
III		1125	1437	620	531	138	114	3965
IV		105	75	115	106	124	49	574
計		1813	2471	1322	1367	532	417	7922
増殖率(倍)		60.4	82.4	44.1	45.6	17.7	13.9	44.0

注) 8月3日~13日 黒皮南瓜にヤンジロマルカイガラムシを接種、8月13日に各区30♀のヤノネキイロコバチを接種、同25日に除去、12月4日終了。

(昭60長崎果試)

成

績

概

要

普及上の留意点

栽培現場における天敵利用防除技術の本質的理解と、南瓜の安定供給等、天敵増殖システムの確立が急務である。

その他